

# Nutri-developmental biology

**Tadashi Uemura, Ph.D.**

Professor

Kyoto University Graduate School of Biostudies

Date : 22<sup>th</sup> Nov, 2018 15:30~

Location : The conference room on the 1<sup>st</sup> floor of the IMCR, Gunma Univ.

ヒトを含む動物は絶えず変化する環境にさらされており、その主な要因の一つは食餌から摂取する栄養である。栄養素は各々単独で個体の成長や健康に影響を与えるのではなく、互いのバランスが重要であると報告されている。我々は、様々な栄養バランスに対して個体はどのように応答して、成長速度、生殖能、寿命などの生活史形質 (life-history traits) が調節されているかに興味を持ち研究している。本セミナーでは、栄養バランスの変化に柔軟に適応して成長できるショウジョウバエの種と、できない近縁の種との間で、遺伝子発現や代謝レベルでの生体応答を比較して適応能力の分子基盤を追究した研究を報告する。また、栄養環境への応答を細胞レベルでの観察を糸口に研究している例や、応答を支える組織の発生を生体内イメージングにより解析している現状を報告する。